



### コロナ差別を考える！－思いやり・つながり・支え合う－

人権・同和教育課 佐伯 孝史

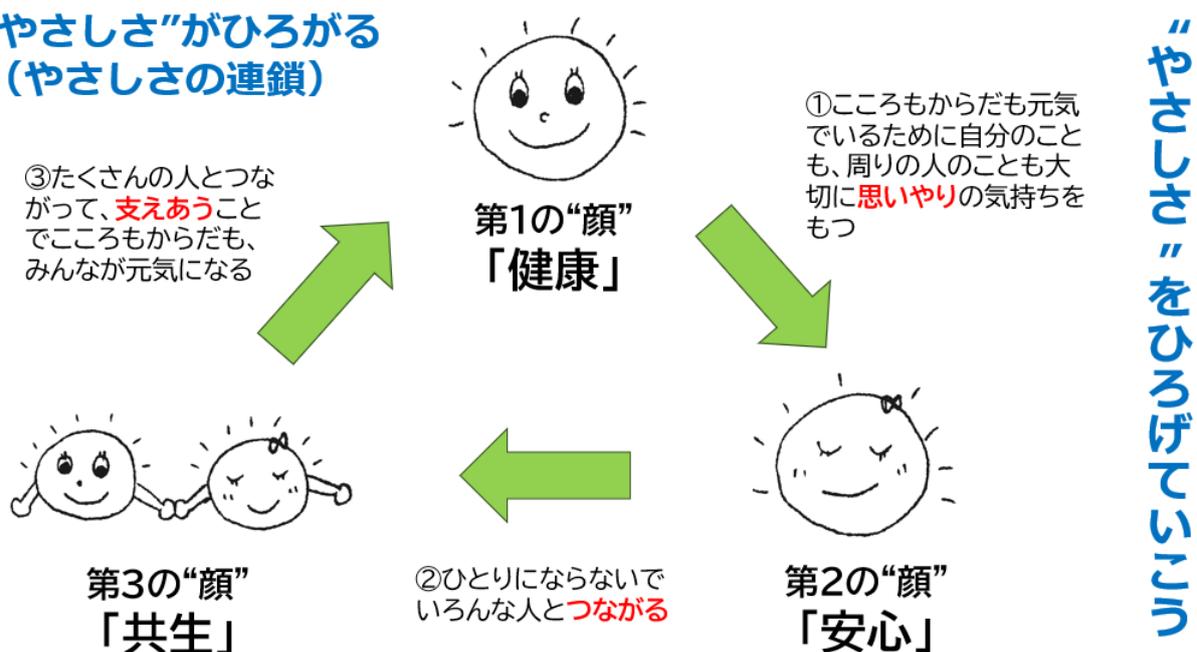
本校の人権委員会が毎年お世話になっている施設に氷見交友会館があります。氷見交友会館では「こころ」という人権カレンダーを毎年作成し、近隣の方への啓発活動として配布しています。今回のテーマは、その「こころ」から昨年度のものを抜粋して皆さんに紹介します。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う差別や偏見が発生した1年でもありました。特に感染者、医療従事者をはじめ感染リスクの高い職業などに対する誹謗・中傷・偏見や差別はいまだに続いています。ある啓発メッセージに「我々が恐れるのはウイルスであって人ではありません」の言葉がありました。いったい、私たちは人をどのように恐れてきたのでしょうか。

国内で感染が広がると、感染者の関係施設、感染リスクの高い職業が標的となりました。私たちは、個人はもちろんのこと、その人の関係している職種や団体といった属性で判断していたのです。このことは、部落差別と差別する構造は同じです。個々を見ずに物事の印象や属性で決めつけてしまう。また、私たちの社会は個人よりも集団の秩序が優先されがちです。そのため、感染者は集団の秩序を乱した者として攻め続けられました。人は誰でも病気にかかります。かかったからといって、人は、差別されたり排斥されたりしてはなりません。なぜ、「一緒に頑張っていこう」とか「みんなで乗り切ろう」などの言葉や心に響く言葉を発しなかったのでしょうか。

差別に加担する人の多くは、自分の言動が差別に当たるという感覚がないのかもしれませんが。加害者は被害者にもなるし、被害者は加害者にもなり得るのです。私たちの心に潜んでいる偏見や差別をなくしていくためにも、もっと「やさしさ」のある言葉や[支え合う]ことの大切さを呼びかけるメッセージが必要だったのではないかと思います。

### “やさしさ”がひろがる (やさしさの連鎖)



# 令和3年 6月行事予定

日	曜	行	事
1	火		
2	水	各種委員会	
3	木	歯科検診②	県総体壮行会⑦限(リモート開催)
4	金	↑	県総体
5	土		
6	日		
7	月	↓	語の日 レクリエーション講義(2-4) 校納金引落
8	火		尿検査(二次予備日)
9	水		身だしなみ指導
10	木		歯科検診③ 西条市出前講座(2年)
11	金		全校集会
12	土	↑	進研マーク模試(3年) 土曜課外①(1・2年)
13	日	↓	
14	月	↑	手紙相談
15	火		
16	水		人権・同和教育講演会
17	木		全校集会(県総体表彰・四国総体壮行会)
18	金	↓	人権紙芝居(1年) 就職模試(3年) 第1回漢字能力検定 市内五高校PTA連絡協議会(開催未定)
19	土	↑	土曜課外②(1・2年) 県学力テスト(3年)<中止>
20	日	↓	第142回珠算・電卓実務検定試験
21	月		期末考査発表
22	火	↑	卒業アルバム撮影
23	水		
24	木		
25	金	↓	
26	土		
27	日		
28	月	↑	期末考査(～7/2)
29	火		
30	水		

↑ 相互参観授業

↑ 卒業アルバム  
部活動写真

↑ 四国総体



スローガン：高橋真央さん(3年)

デザイン：浅田萌々香さん(3年)